

## DI 値は 2 期連続で軒並み大幅改善

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「需要の停滞」の152社。2位が「原材料価格の上昇」の64社。「人材養成・確保」が56社で3位。
- ★ 「今後の税制改正で最も重点をおくべき税目」について、「消費課税」が58.0%（134社）で最多。以下、「法人課税」16.9%（39社）、「個人所得課税」15.6%（36社）と続く。
- ★ 「中国横断道尾道松江線全然開通が、三次市にもたらす経済効果」について、「プラス効果がある」が39.1%（90社）で「マイナス効果の方が大きい」の12.6%（29社）を上回る。「影響はない」との回答が27.4%（63社）

平成 26 年 10～12 月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

### 三次商工会議所

平成 27 年 1 月に実施した第 99 回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。

本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が 99 回目。

市内の 500 事業所を抽出し、集計企業数は 241 社（小売業 67 社、卸売業 30 社、製造業 36 社、建設業 57 社、運輸・交通業 19 社、観光・サービス業 32 社）で回収率は 48.2%。

### 【概況】

今期（10～12 月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況 D.I は、全業種平均で▲5.4 と、3ヶ月前の前回調査から 20.8 ポイント改善した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が全体の 2.1%、「やや好転」が 23.0%で、逆に「やや悪化」が 21.8%、「かなり悪化」が 8.8%だった。同様に、売上 D.I も 20.4 ポイント改善して▲4.2。採算 D.I も 18.3 ポイント改善して▲15.9。原材料（商品）仕入価格はやや低下して 31.6。昨年 4 月の消費税率アップによる大幅な落ち込みからの反動や消費税再増税の延期、年末商戦・三次藩札など色々な要素が重なった影響もあってか、業況、売上、採算 DI とも 2 期続けて 10 ポイント以上の大幅改善。また、依然としてマイナス値を示してはいるが、10 月～12 月期に限ってみれば平成 24 年の第 2 次安倍政権誕生以降、3 年続けて業況 D.I はマイナス 1 桁台。とはいいいながらも、円安に伴う原材料費の高騰や増税による内需低迷も完全には解消されておらず、また、アベノミクス効果も地方や中小零細企業まで十分に及んでいないという状況下では、来期見通しが▲26.8 を示す通り先行き不安感は強い。

今回事業所に対し、「今後の税制改正で最も重点をおくべき税目」について尋ねたところ、約 6 割（58.0%）にあたる 134 社が「消費課税」と回答し、消費課税に対し関心が高いという結果になった。

また、来月 22 日に中国横断自動車道尾道松江線（中国やまなみ街道）が全線開通するが、三次市にもたらす経済的効果に対し、約 4 割（39.1%）の 90 社が「プラスの影響がある」と回答し、「マイナス効果の方が大きい」の 29 社（12.6%）を大きく上回った。

※ DI 値（景況判断指数）について

DI 値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

業況 DI (好転割合) - (悪化割合)

売上 DI (増加割合) - (減少割合)

採算 DI (好転割合) - (悪化割合)

**業況**は、全業種合計で今期▲5.4。業種別では、6 業種すべてで改善。特に、卸売業が 0.0、製造業が 5.6 とマイナス値から脱却。

**売上**は、全業種合計で今期▲4.2。業種別では、業況同様、6 業種すべてで改善。中でも、卸売業が 10.0、製造業が 13.9 とプラスの値。主な改善理由としては「季節的な増加」が 37 社と最多。

**原材料(商品)仕入価格**は、全業種合計で今期 31.6。円安の影響もあり依然として高値で推移しているように思われるが、運輸・交通業で▲35.3 を示し、原油価格（ガソリン・軽油）が急激に下落している。

**採算**は、全業種合計で今期▲15.9。業種別では、改善幅に開きがあるものの業況、売上同様すべての業種で改善。ただ、内訳をみると卸売業▲6.7、製造業 0.0、観光サービス業▲9.7 である反面、小売業▲26.9、運輸・交通業▲27.8 と業種間の差が激しい。

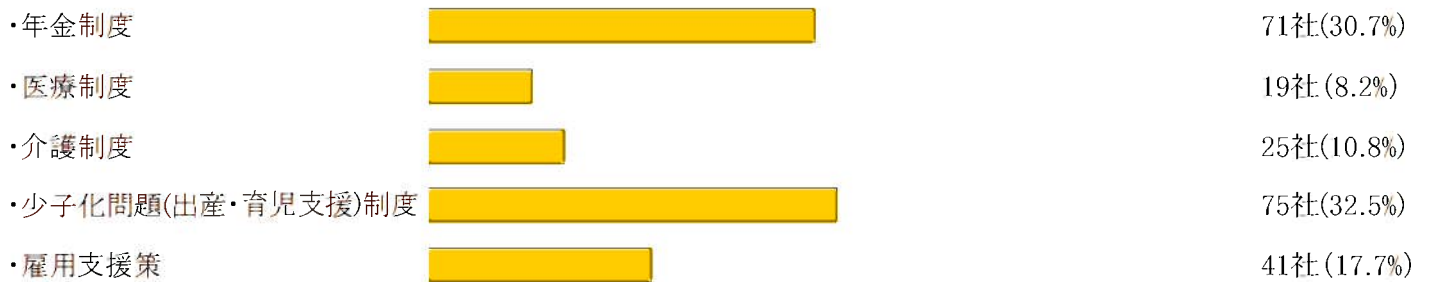
【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



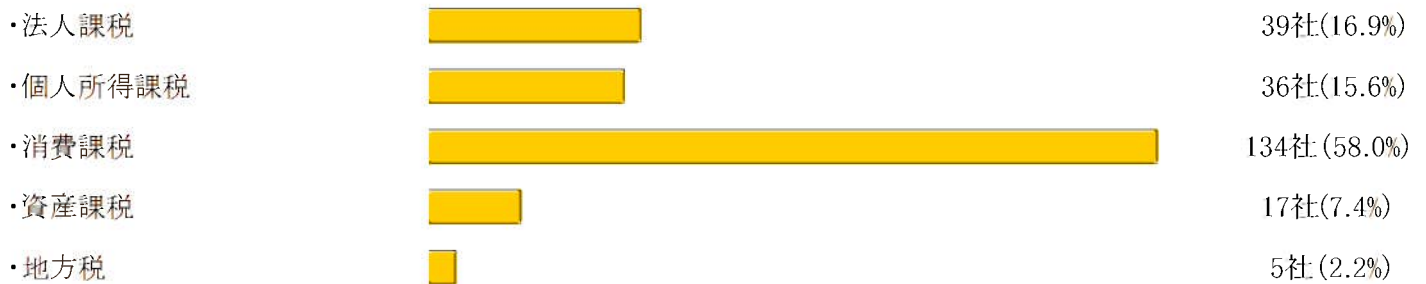
【現在の雇用人員をどのようにお考えですか？】



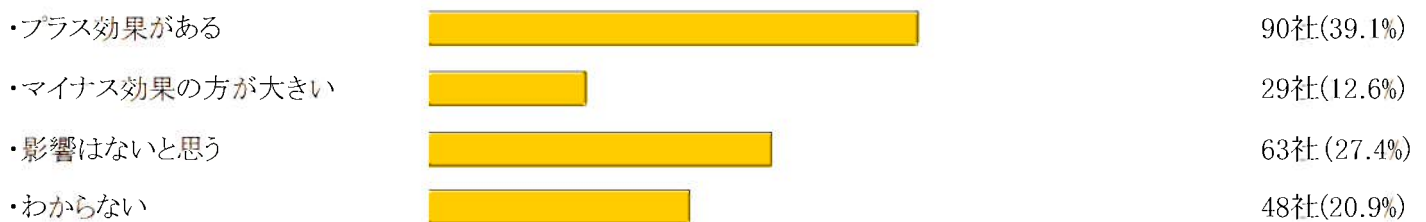
【社会保障制度の中で改革に取り組むべき最も重要な分野は何だと思われますか？】



【今後の税制改正で最も重点をおくべき税目はどれだとお考えですか？】



【中国横断道尾道松江線の全線開通が、三次市にもたらす経済効果は？】



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 5.4	▲ 26.8
小売業	▲ 7.5	▲ 22.4
卸売業	0.0	▲ 30.0
製造業	5.6	▲ 16.7
建設業	▲ 7.0	▲ 31.6
運輸・交通	▲ 10.5	▲ 26.3
サービス業	▲ 13.3	▲ 36.7

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 4.2	▲ 27.8
小売業	▲ 12.3	▲ 27.7
卸売業	10.0	▲ 26.7
製造業	13.9	▲ 19.4
建設業	▲ 3.5	▲ 32.7
運輸・交通	▲ 22.2	▲ 27.8
サービス業	▲ 12.9	▲ 30.0

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

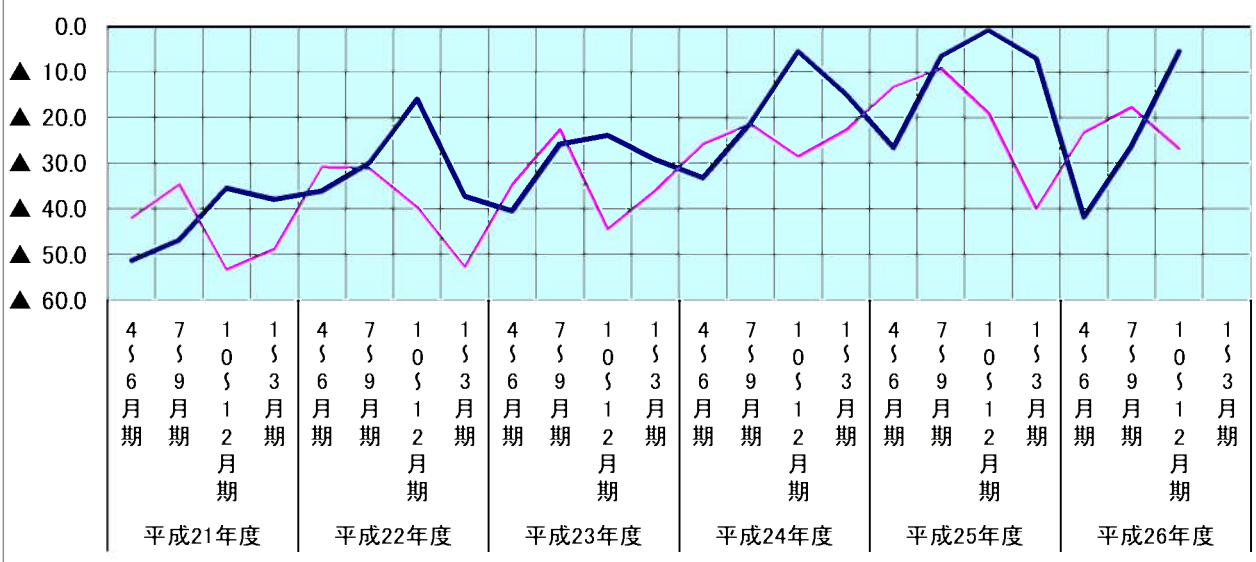
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 15.9	▲ 34.5
小売業	▲ 26.9	▲ 31.3
卸売業	▲ 6.7	▲ 33.3
製造業	0.0	▲ 22.2
建設業	▲ 17.5	▲ 41.8
運輸・交通	▲ 27.8	▲ 33.3
サービス業	▲ 9.7	▲ 44.8

(好転割合－悪化割合)

# 全業種

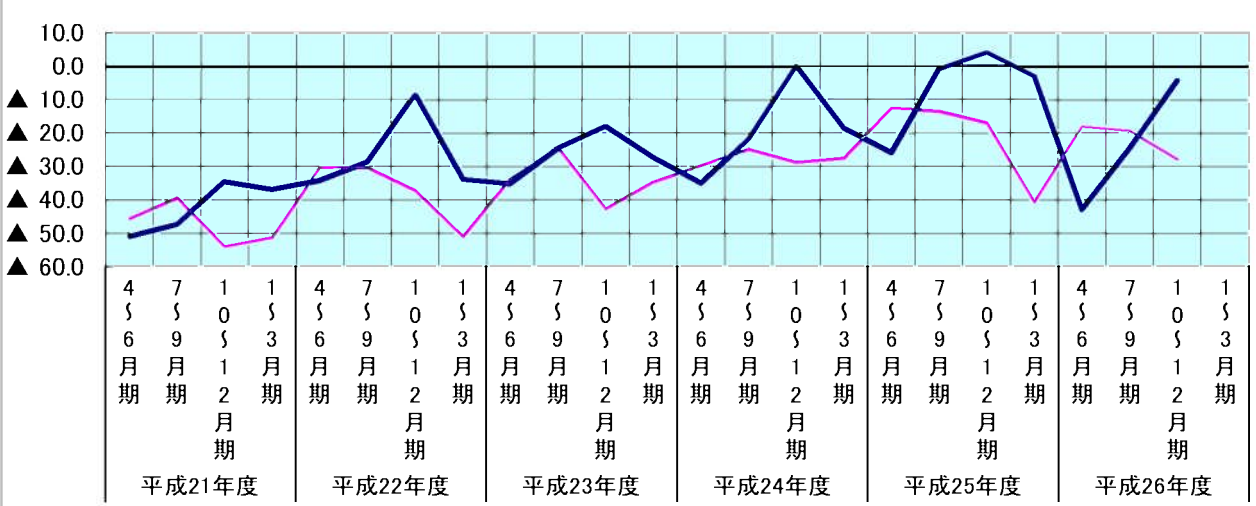
## 業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



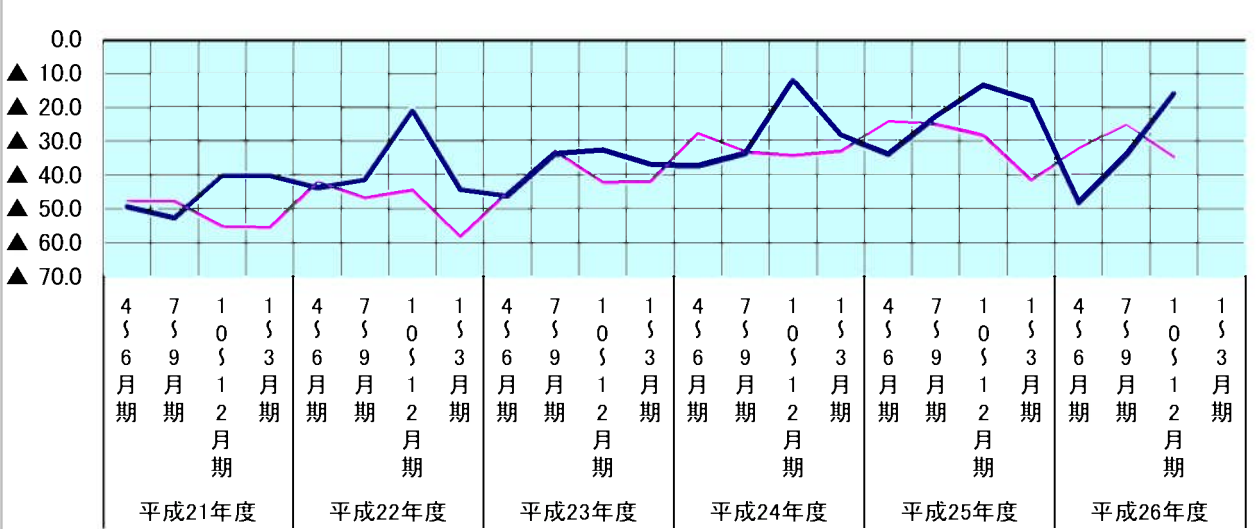
## 売上D.I.の推移

前期比 来期見通し






















## 採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
卸 売 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
建 設 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
運 輸 ・ 交 通 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			

景気天気図の説明					
					
大変良い	良い	まあまあ	少し悪い	悪い	大変悪い